※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 201 |
|---|---|

# 令８年度　社会科

| 教科 | 社会科 | 科目 | 地理探究 | 単位数 | ３単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 地理探究（二宮書店）　高等地図帳（二宮書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 新詳地理資料　COMPLETE2025（帝国書院） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理探究では、世界の諸課題を地球的な視野で捉えることにより、持続可能な社会の在り方について探究する力を身につけます。
授業では教科書・資料集を活用するとともに、何度かプレゼンテーションやレポート提出課題を行い、いわゆる定期考査とともに評価します。現代では「教科書に基づいて学ぶ知識」も「資料に基づいて行う思考」も「主体的に学び、それを人に伝える」力もすべて必要だと考えているからです。

## 2　学習の到達目標

・知識を蓄える。系統地理・地誌の基礎的知識を培い、多角的に物事をとらえる技能を養う。
・発信できる力を養う。プレゼンテーションや振り返り学習を通じて、他者への情報発信や、他の意見を取り入れ、自らの学習に繋げることができるように考えることができるようになる。
・地図・資料から情報を読み取り、課題解決に役立てようとする態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ○　地理的事象と自然環境や人々の生活、文化の多様性などとの関りについて理解している。<br>○　地理的情報を地図や地理情報システム(ＧＩＳ)などを用いてまとめたり表現したりする技能を身に着けている。 | ○　地理に関わる事象の背景や意義，特色や相互の関連を，位置や分布、場所、人間と自然環境との関りなどに着目して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて考えたりすることができている。<br>○　考察，構想したことを効果的に説明したり、議論したりすることができる。 | ○　地理的事象について、よりよい社会を実現するために、地理的諸課題を主体的に追究し、解決しようとしている。<br>○　世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚が深まっている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 第1章　自然環境 | 1節　地形<br>1　世界の地形と地形をつくる力<br>2　プレートの運動が地形に及ぼす影響<br>3　地震と火山<br>4　造山運動と世界の陸地<br>5　河川がつくりだす地形<br>6　海岸にみられる地形<br>7　さまざまな環境で形成される地形 | a：地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形の特徴や成因と、それが人間活動とどのように関わっているかについて理解している。<br>b:大地形や小地形などの特徴や成因について、それが人間活動とどのように関わっているかについて考察し、表現している。<br>c：地形について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>発表内容 | 振り返り |
| | | 2節　気候と生態系<br>1　水の循環と利用<br>2　海洋の循環<br>3　大気の大循環と気候<br>4　気候の地域性<br>5　植生と土壌 | a：気温や降水量，風などの気候の違いが、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。<br>b：気温や降水量、風などの気候の違いが、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c：気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>発表内容 | 振り返り |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | | 3節　世界各地の自然と生活<br>1　席の気候区分<br>2　熱帯の自然と生活<br>3　乾燥帯の自然と生活<br>4　温帯の自然と生活<br>5　亜寒帯と艦隊の自然と生活 | a：気温や降水量，風などの気候の違いが、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。<br>b：気温や降水量、風などの気候の違いが、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c：気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>発表内容 | 振り返り |
| | | 4節　日本の自然環境<br>1　日本の地形<br>2　日本の気候<br>3　日本の自然災害と防災 | a：日本列島の地形や気候など多様な自然環境について、その特徴や、自然災害との関わりについて理解している。<br>b：日本列島の地形や気候など多様な自然環境について、その特徴や、自然災害との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c：日本の自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>発表内容 | 振り返り |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | | 5節　地球環境問題<br>1　地球環境問題に関する大観<br>2　越境する汚染<br>3　地球温暖化の現状<br>4　地球温暖化への対策 | a:，地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すために、様々な地球環境問題を解決することの必要性と、そのために必要な取り組みについて理解している。<br>b:　地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すために、様々な地球環境問題を解決することの必要性と、そのために必要な取り組みについて、多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:　地球環境問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>発表内容 | 振り返り |
| 2学期 | 第2章　資源と産業 | 1節　農林水産業<br>1　農業の諸条件<br>2　社会の発展と農業の変化<br>3　グローバル化･技術革新と農業<br>4　林業<br>5　水産業<br>6　食料問題 | a:農林水産業の成り立ちやその分布、世界及び日本の農業の現状や課題、食料の分配の世界的な偏りや、その原因ついて理解している。<br>b:　農林水産業の成り立ちやその分布、世界及び日本の農業の現状や課題、食料の分配の世界的な偏りや、その原因ついて、多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c:農林水産業の現状や課題、食料問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>発表内容 | 振り返り |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | | 2節　資源･エネルギー<br>1　社会の発展と資源の利用<br>2　世界の鉱産資源<br>3　世界のエネルギー資源とその課題<br>4　電力の利用と変化 | a:世界のエネルギー･鉱産資源の分布の偏り、それがどのように生活や産業に利用されているか、また、そういった不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解している。<br>b:：世界のエネルギー･鉱産資源の分布の偏り、それがどのように生活や産業に利用されているか、また、そういった不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて、多面的･多角的に考察し、表現している。<br>c:エネルギー・鉱産資源について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>発表内容 | 振り返り |
| | | 3節　工業<br>1　社会の発展と世界の工業化<br>2　工業の立地<br>3　工業地域の形成と変化<br>4　自動車工業の特徴と日本の海外生産<br>5　国際分業の進展と多国籍企業<br>6　工業生産のグローバル化に伴う諸課題 | a:さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業がどのように発展してきたのか、また、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて理解している。<br>b:　さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業がどのように発展してきたのか、また、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて、多面的･多角的に考察し、表現している。<br>c:工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>発表内容 | 振り返り |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | | 4節 第3次産業<br>1 サービス経済化と社会の変化 | a:経済が発展し、物やサービスへの需要が高まった国において主力の産業となった第 3 次産業の現状について理解している。<br>②経済が発展し、物やサービスへの需要が高まった国において主力の産業となった第 3 次産業の現状について、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③第3次産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>発表内容 | 振り返り |
| | 第3章 人・モノ・金のつながり | 1節 交通・通信<br>1 世界を結ぶ交通<br>2 世界を結ぶ通信 | a:社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達と、その傾向や地域性、地域間格差について理解している。<br>b: 社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達と、その傾向や地域性、地域間格差について、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c:交通・通信について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>発表内容 | 振り返り |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | | 2節　貿易･観光<br>1　世界を結ぶ貿易<br>2　世界と日本の貿易とその課題<br>3　世界を結ぶ資金の流れ<br>4　世界を結ぶ観光とその課題 | a:日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題、拡大を続けている世界の貿易における、地域性や地域間格差が現れてきている理由について理解している。<br>b:日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題、拡大を続けている世界の貿易における、地域性や地域間格差が現れてきている理由について、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c:観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題、貿易と経済圏について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>発表内容 | 振り返り |
| 3学期 | 第4章　人口　村落・都市 | 1節　人口<br>1　人口の推移と分布<br>2　人口構成と人口転換<br>3　人口移動<br>4　人口増加地域、減少地域の人口問題 | a:世界の人口の推移や、人口ピラミッドを通じてその国の特徴、諸問題、日本の人口諸問題について理解している。<br>b:各国の人口推移、分布を資料から読み解き、多角的に人口問題を考え、表現している<br>c:人口、人口問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>人口ピラミッドの作成<br>発表内容 | 振り返り |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | | 2節　村落･都市<br>1　集落の成り立ちと機能<br>2　都市の成り立ちと機能<br>3　世界の都市･居住問題と解決への努力 | a:村落の形態・特徴・機能、人口移動による都市の居住問題の特徴と形成について理解している。<br>b:時代背景と村落の形成段階、世界と日本の都市の問題点を比べ、そのように至った経緯や環境、時代背景について考察し、表現している。<br>c:都市と村落について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題、都市･居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>発表内容 | 振り返り |
| | 第5章　文化と国家 | 1節　生活文化と言語･宗教<br>1　生活文化と地域<br>2　世界の衣服<br>3　世界の食生活<br>4　世界の住居<br>5　世界の言語<br>6　世界の宗教 | a:世界各国の民族・言語・宗教の基礎的知識、世界の気候・地形による衣食住の形態・特徴・形成過程について理解している。<br>b:民族･宗教の相違により広がる諸問題、自然地理や歴史・宗教と衣食住の関係性を精査し、系統立てて各国の衣食住環境について、歴史観・文化・風土・自然地理などの面から考察し、表現している。<br>c:　世界の民族･宗教と民族問題、世界の衣食住について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>発表内容 | 振り返り |
| | | 2節　国家とその領域<br>1　国家の形成と領域<br>2　世界の民族･領土問題<br>3　日本の領土に関する問題<br>4　海洋国家としての日本<br>5　国際連合の役割と課題 | a:領土の正確な定義、国際的な日本の領土問題について理解している。<br>b:領海や排他的経済水域、接続水域などの範囲を明確に理解するとともに、国際的に侵犯してはならない範囲について考察し、表現している。<br>c:　よりよい国際社会の実現を視野に複数国間でみられる課題を主体的に追求しようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>発表内容 | 振り返り |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度